

大学の新しい運営体制 の発足について

学長 中嶋嶺雄 (昭C35)

今日、大学とくに国立大学の在り方が深刻に問われておりますが、本学でもこのところ学部・大学院改革推進委員会を中心に連日真剣な議論をすすめ、目前に迫ったキャンパス移転とともに、新しい大学像の形成に努めております。多くの注目を集めている「五大学連合」構想も、2001年度からの実施を目途に、当面は一橋、東工大、東医歯大と本学とのあいだで学長のみならず副学長(学生部長)、事務局長らを交えた協議をすすめております。

そのような折しも、本学ではこの4月1日の新年度から大学の運営体制を大幅に改編しました。国立大学設置法などの大学関連の法改正が実施されたためでもあります。2名の副学長の枠が設けられるとともに、単科大学としては異例の学部長が認められ、大学の最高意志決定機関としての評議会が正式に設置されることにもなったことなど、文部省の配慮により、大蔵省、総務庁との概算要求交渉が成果をみたことが大きな改編につながりました。

このような改編によって、2名の副学長が就任するとともに、従来、学長が実質的に兼務していた学部長、同じく学長が兼務していた大学院研究科長を新たに選出し、ここに本学は部局制による多面的な運営形態をとることになりました。同時に事務局の体制も整備され、いわゆる事務の一元化もはかられました。

このような改編は、本学の歴史にとっても画期的なことだったと思っておりますので、同窓の皆様にも何卒よろしくご理解賜り、引き続き母校へのご支援をお願いいたします。

以下に本学の評議員名簿とともに、今回新たに選任された副学長および部局長のプロフィールを簡単に紹介させていただき、運営体制機構図を41頁に掲載します。

副学長 高橋作太郎 (外国語学部教授・言語情報講座・欧米第一課程、英語学、米国 North-western 大学 Ph. D.、前附属図書館長、1942年生まれ)

副学長 富盛伸夫 (外国語学部教授・言語情報講座・人文系列、言語学・ロマンス言語学、東京大学文学修士、前学生部長、1948年生まれ)

附属図書館長 池端雪浦 (アジア・アフリカ言語文化研究所教授・広域言語文化第一研究部門、歴史学・東南アジア史、東京大学文学博士、前アジア・アフリカ言語文化研究所長、1939年生まれ)

外国語学部長 杓掛良彦 (外国語学部教授・総合文化講座・人文系列、西洋古典学・比較文学、東北大学文学博士、1941年生まれ)

保健管理センター長 井上哲文 (保健管理センター教授、リウマチ学・アレルギー学・内科学、東京大学医学博士、1947年生まれ)

東京外国語大学評議員名簿

学長	中嶋嶺雄
副学長	高橋作太郎
副学長	富盛伸夫
附属図書館長	池端雪浦
外国語学部長	杓掛良彦
アジア・アフリカ言語文化研究所長	石井 溥
大学院地域文化研究科長(大学院選出)	西永良成
留学生日本語教育センター長	姫野昌子
保健管理センター長	井上哲文
アジア・アフリカ言語文化研究所	
附属情報資源利用研究センター長	町田和彦
教授(学部選出)	教賀陽一郎
教授(学部選出)	亀山郁夫
教授(学部選出)	相馬保夫
教授(大学院選出)	上村忠男
教授(AA研選出)	宮崎恒二
教授(留学生日本語教育センター選出)	横田淳子

平成12年3月末の募金 総額と現在の後援会 活動について

記念事業推進本部長
中村 博 (E昭29)

百周年記念募金の免税期間は平成11年12月31日で終わりましたが、その後も中嶋学長が募金をお願いした法人企業から390万円、更に個人の募金が20件で60万6千円ありました。その結果、最終的に募金が終わったと思われる3月末時点で百周年記念募金の総額は5億6百万円となりました。

その内訳は158社の法人企業が2億1千万円、外語会会員が5,370件で2億2千万円、教職員が331件で2千450万円、在校生保護者が1,991件で5千万円、その他個人が10件で150万円となっております。

今回の百周年記念募金の特徴としては募金総額のうち、個人募金額が法人募金額を大きく上回り、その比率が58.5対41.5となったことであります。寄付をお願いした卒業生、在校生保護者、教職員等個人23,000人のうち平均して3人に1人の割合で募金に応じられております。50歳以上の個人の場合は2人に1人、65歳以上にかざると3人のうち2人の割合でご寄付をされております。

募金に応じられた大多数の方々の最大の要望は百周年記念会館の取得であります。後援会としてはそれらの希望をかなえるべく、現在正副理事長を中心として大学側と協議しつつ、なるべく便利な場所に使い勝手のよい記念会館の取得に向けて日々努力をいたしております。

幸いバブル崩壊以来の不動産価格の大幅下落により数年前では手の届かないような物件が土地、建物共に現在は取得可能となりました。後

援会として現在の地道な検討を続けていけばここ2～3ヶ月のうちに立地も良く、建物の内容も満足するような記念会館の物件が確定するものと思われます。(平成12年4月16日記)

百周年記念事業後援会からのお詫びとお知らせ

会報88号で後援会への寄付者(卒業生と大学関係者)リストを掲載しましたが、次の訂正がございますので、お詫びかたがたお知らせします。

1. 掲載洩れ

金額5万円 今村宣勝殿 (Ic平5)

(ご父兄からの振込だったので「父兄」欄に入っていた)

2. 金額表示相違

金額3万円 木村将雄殿 (E昭38)

(ご子息が在学生の為、「父兄分」と折半して、1.5万円と表示されていた)

3. 匿名の方の金額表示方法

匿名で現金のご送付があったものは記録をとるため、事務局で郵便振替の手続きをしておりますが、同一人から二度ご送金いただいても匿名の為、同一人であるとの認識ができません。従って、寄付者リストには送金いただいた金額毎に記載しております。なお、年次も不詳の為、インプットの都合上、事務局長の年次で入れてありますので、悪しからずご了承ください。

平成12年3月4日逝去された中国語科昭和18年卒業の宮本隆博氏は、生前療養中、百周年記念事業への寄付を気にかけておられた由でしたが、夫人・学友等のお力で、3月2日ご寄付いただき枕頭にご報告できたとのことでした。(後援会から御礼申し上げます。)

未来にはばたく新卒業生 —ようこそ外語会会員に

3月24日、北とびあで母校の卒業式が行われ、外国語学部(26専攻語)卒業生718名(うち女子489名)、大学院地域文化研究科博士前期課程修了者87名(57名)および同博士後期課程修了者5名(5名)がそれぞれの進路へ巣立っていった。

コールソレイユの大学歌合唱で式は始まり、各専攻の代表に学長から卒業証書・学位記が授与された。博士後期課程の修了者には一人ひとりに学位記が学長から手渡された。



学生生活の最後を専攻語の衣装で

中嶋嶺雄学長は告辞として大要次のようなはなむけの言葉を述べた。

「諸君の門出にあたって心からお祝い申し上げます。就職して社会に出て行く諸君も、進学、留学する諸君もまた留学を終えた諸君も、これからは自分ではばたいて輝かしい未来をきり拓いてほしい。私達の同時代史には情報環境や国際環境のボーダーレス化など一大変化が起っている。このような変動の時にこそこれまで学んだことの有効性が試される。いずれ、諸君は国際交流、国際接触の第一線に立ち、リーダーとなってゆくであろうが、自分の意見を



しぐさも身につけて

を持ち、それを表現できる力を養ってほしい。自分の意見・立場がしっかりしてこそ相手のことが分かる。本学の卒業生としての誇りをもって活躍してほしい。また大切なこととして国際関係における道義・モラルを忘れてはならない。グローバリズムの立場に立って人類の公共財を護り、公共哲学をもつことが必要である。広い意味の民意に基づく政治、人権を大切にすること、国家エゴイズムにならないこと—これらのことに努力して日本を品格のある、高い信頼の得られる国にしていってほしい。



ハカマ姿もりりしく

高等商業学校から独立して百周年、新制大学となって50年、今年是新キャンパスに移転するという区切りのときに諸君は卒業する。自負をもって頑張してほしい」。

つづいて、東京外語会の鈴木幸壽理事長が、「外語は卒業生の少ない大学なので700人をこえるみなさんを外語会に迎えるのは心強い。同窓生はなかなかユニークで、国際舞台で活躍している者は約1割、2000人を数える。グローバリゼーションの進む国際社会に出ていくとき、常に外大出身の看板を背負っていることを自覚されたい。最近、警察などで不祥事があったが、これなども、日本の社会の中で個のアイデンティティを確立していれば起らないことだと思う」との祝辞を述べた。

東京外国語大学管弦楽団の祝典曲演奏をもって式を終えた。

東京外国語大学管弦楽団の祝典曲演奏をもって式を終えた。

キャンパス通信

東京外国語大学出版会 4月に 設立 『東京外国語大学史』 普及版を刊行

東京外国語大学出版会委員長
亀山郁夫（総合文化講座
ロシア文学教授 R昭47）

待望久しいユニヴァーシティ・プレス（大学出版会）が本年4月に設立されました。その記念として、ここに『東京外国語大学史』の普及版を刊行いたします。ご承知のとおり、これまで本学には大学史らしい刊行物は一切なかったと言っても過言ではありません。したがって、今回の「大学史」の編纂事業はゼロからの出発と言ってもよく、編纂委員会が発足した約3年前から委員や分担執筆の先生方、大学史編纂室の方々や学内に保管されていた資料は無論のこと、日本全国の図書館や研究所に出張し、これまで所在の分からなかった資料や既に忘却の彼方に追いやられていた明治期以降の「外語人」に関する事跡を発掘してまいりました。

東京大学をはじめ他大学の大学史というと、専任のスタッフにより数十年もかけて編纂されるものですが、今回の本学の大学史はかけた時間こそ少ないものの、執筆者の情熱と集中力は奇跡と言ってもよいものがあります。語科によってスタイルは必ずしも統一されておきませんが、何よりも広く読んでもらえるリーダブルなものを、という基本方針はそのことによってむしろ実現されたことと思います。一口に大学史といっても本学のように長い歴史と多くの語科を擁する場合、教員スタッフ、語科設置の歴史的背景を逐一調べていくことは、並大抵のことではありませんでした。もちろん事実関係には完璧を期しましたが、思わぬ誤謬が紛れこんでいるかもしれません。しかし、それを差し引いても「外語の歴史をとおして近代日本が見えてくる」というのは単なるキャッチフレーズではなく、

編纂委員会の自負するところであります。

東外大出版会としては、この血と汗の結晶で



百周年記念事業で刊行された
『東京外国語大学史』

ある『東京外国語大学史』（普及版といっても箱入上製本、史料写真200点以上という1500ページの豪華本で頒価は7000円〈送料1000円〉です）を卒業生の皆様に、東外大で学んだ証として是非とも座右に置いて頂きたく、ここにご案内する次第です。おそらく寝る前に思いつくままにページを繰っても、そこに思わず引き込まれてしまうような事実には驚かれることでしょう。乞うご期待！

なお、東外大出版会は、来年春の学術書刊行をめざし、現在その基金作りのために鋭意、努力中です。OB、OGの皆様方の本基金へのご支援、ご協力を心からお願い申し上げる次第です。

〔申込方法〕 同封の所定の申込用紙を使ってお申し込みください。

西ヶ原から府中へのキャンパスの移転は8月中旬から始まります。8月10日まで学生たちは授業を受け、前期の試験を受けます。10月から始まる後期の授業は府中キャンパスで行われます。（4月8日の東京外語会臨時総会での高橋作太郎副学長の大学の現況報告から）なお、新キャンパスオープン祝賀式典は9月27日（水）午前11時から挙行される予定です。

『東京外国語大学史』の 頒布に関するお願い

東京外国語大学長 中嶋嶺雄

多くの方々のご協力を得て、本学が全力を注いで編纂・刊行致しました『東京外国語大学史』は、お蔭様で好評をいただいております。昨年11月4日の独立百周年（建学百二十六年）記念式典に御参加いただきました同窓生の皆様には、大学からの記念品の一つとして献呈させていただきました。記念式典と記念事業の内容および御参加の方法などにつきましては、『東京外国語会会報』No.85（1999年3月号）、No.86（1999年6月号）およびNo.87（1999年10月特集号）でお知らせさせていただきました。

しかし、当日御都合で出席できなかった方、会報誌でのインフォメーションに御気付きでなかった方、そして百周年募金に御協力くださった方などから、『東京外国語大学史』を入手したいのご希望が寄せられております。この件につきましては、東京外国語会の鈴木理事長、古茶副理事長からの要請も承りました。

そこで大学としましては、東京外国語大学史

編纂委員会および東京外国語大学出版会の合同委員会を開催し、なんとか御要望に答えられないものかと様々な角度から検討させていただきました。しかし金額一万円以上の個人の募金額にも国税局の免税措置（確定申告が可能）がとられているために、募金の対価として募金目標の対象になっている事業項目に派生する品物を頒布してはならないこと（所得税法第78条）、この件につきましては国税局から再三指導を受けていること、および募金に御協力いただいた方が多数にのぼることなどから、大学としては残念ながら御要望には答えられないとの結論に達しました。私と致しましては大変心苦しく思っておりますが、何卒事情御賢察の上よろしく御理解賜りますようお願い申し上げます。

なお本号13頁の記事にもありますように、東京外国語大学出版会の最初の刊行物として『東京外国語大学史』の普及版を刊行致しました。非売品のものとほとんど変わらない普及版を特別価格にて頒布させていただくことになりましたので、ぜひ御購入下され、座右にて母校の永い歴史を綴っていただきたく、改めてお願い申し上げます。



校章をデザインした

外語グッズコレクション

創立百周年慶祝ウオッチ登場！
ゴージャスでエレガントなデザインが、
貴方をさりげなく演出します。

- ・純国産、一流メーカー品。
- ・バジュームめつき飾り練付き金メッキケース。
- ・男性用：直径3.5cm 婦人用直径：2.7cm
- ・価格：各¥10,000（ペアでお求めの場合1割引）。
- *他の外語グッズは、振込用紙の裏面をご覧ください。

万感こもこも 「さよなら西ヶ原」

西ヶ原に別れを告げる日が近づいた。超モダンな府中新キャンパスの建設が進むニュースを聞いた時に、歴史を刻んだ古い校舎に万感こもこもの同窓生は多い。

東外大一世紀を経て学窓を巣立った青年は、31,400人を超え、西ヶ原キャンパスが生まれてからは25,500人を数える。

草創期以来、何度も火焰になめられてきた校舎だった。1913(大2)年の神田火災で全焼、10年後には麹町外濠ぎわの校舎も関東大震災で全壊。その後1924(大13)年に新築なった竹平町の新校舎は、「ニワトリ小屋」のアダ名で有名になったが、やがて1940(昭15)年になって西ヶ原に校舎が併設されて翌年には西ヶ原の新築校舎から初の卒業生が巣立った。4年後に竹平町校舎からすべて西ヶ原キャンパスに引越した。煽魔はなおも校舎を苦しめる。第二次大戦末期の1945(昭20)年4月13日、まだまだ木の香も新しかった西ヶ原校舎は米軍の空襲で灰燼に帰した。

半世紀をへた大学校舎

大学になって半世紀。1949(昭24)年以降、従前の木造とは違って鉄筋コンクリート校舎が次々と建てられて現在にいたっている。幸いに、震災、戦災の憂き目に逢うこともなく、年々在学生も増え続けて、校舎の内外に印された思い出は溢れるばかりだ。

「家は息づくものです」と大工・棟梁は言う。飾り気一つない四角四面の現コンクリート校舎だが、中の空気は言葉の学習で生きてきた。外壁のカビも、廊下の汚れも、自然および学生たちの「生きのよさ」の証だ。

戦争中、竹平町校舎との併設時代には、西ヶ原の通称“滝野川広場”は在校生の軍事教練の練兵場でもあった。お堀端のニワトリ小屋校舎から毎週、帯剣、三八銃携行で市電に乗り、染



4号館から見た校舎、図書館

井墓地を通過しては西ヶ原に赴いて演習した。西ヶ原キャンパスと言えば軍事教練の場所だ、と最初の印象を抱いている戦前の卒業生が多い。

選手の汗がしみ込んだグラウンド

戦後になって、校舎の間借り流転の時期が数年続いた。西ヶ原の新木造校舎に完全“入居”するまでの石神井校舎時代には、各運動部が放課後に石神井から西ヶ原の運動場に練習に日参した。そして大阪外語大との定期戦の“戦場”ともなってきた。運動部の部活というと、石神井から西ヶ原に移転した際に大いに慌てたのは庭球部であった。部長以下、部員たち一同が、西ヶ原でテニスコートの整備作業に取り組んだが、一向にはかどらず、素人の手にかなう仕事ではないと2週間あまりで中断。結局は10年は専用コートも持たないテニス部であった。

50年前はキャンパスに大教室もなかった。現在体育館の建っている場所にカシの大木があって、そのそばに木造の大きな平屋の48番教室があった。講堂などない時代で、ここで入学・卒業式が行われた。コンクリート校舎の建築が始まったのは1952(昭27)年である。増築に増築を重ねて現在のキャンパスの体裁を整えたのは、なんと1979(昭54)年のことだ。



4号館



グラウンド、右は体育館



3号館



旧体育室、弓道場跡



下瀬坂、旧通用門前



体育館



旧通用門跡、(構内)

二年目を迎えた「東京外国語大学留学生支援の会」

——留学生からのメッセージ——

東京外国語大学留学生支援の会

卒業生の皆さんや教職員の方々、そして外語会からもご支援頂きながら、「東京外国語大学留学生支援の会」(会長：中嶋洋子 学長夫人)は二年目を迎え、今年もさらに留学生支援のために、がんばって行きたいと思っています。

さて、卒業生の皆さんは、現在東外大で学んでいる留学生と接する機会はなかなか無いと思います。そこで、二人の留学生の方に、自由なテーマで、日頃の学生生活や感じていることを卒業生の皆さんにお伝えしたいということで、寄稿をお願いしましたので、ご紹介します。

大学院地域文化研究科博士前期課程

李 泰文さん(韓国)

韓国では、「留学」という言葉を「遊学」と言います。つまり、新しい世界に「行く」ことを強調する意味だと思えます。でも、自分が異邦人だとか境界人として「リュウガク」するのはもったいない事ではないかと思えます。もちろん、自分の国の事を忘れて、留学している国に同化するのかなり難しい事です。しかし、未知の世界へ行く勇氣や好奇心、あとそこで留まって徹底的に受け入れる開放性や熱意を忘れてはいけません。つまり、「リュウガク」ということは、最初の緊張と最後の未練とのバランス、「行く」と「留まる」のバランス感覚

が何よりも大事なことだと感じております。

大学院地域文化研究科修士課程

林 虹瑛さん(台湾)

留学生支援の会のおかげで、日本家庭訪問の活動に参加できました。初めての経験なので、ワクワクしました。新年の日本は休みなので、街の商店街は普段より静かです。こういう時期、帰国していない留学生はとても寂しく感じます。しかし、この活動によって、訪問先の家庭で新年の雰囲気や困り、おせち料理を食べたり、新しい友達と出会ったり、世界各国の新年の慣習について話したりできて、本当に良かったと思います。留学生支援の会と訪問先の人々の熱意で、私は楽しい新年を過ごすことができました。本当に心から感謝しています。



ホームヴィジットの様子

まだまだ会員が不足しています。ぜひ会員に！—入会方法

会員・賛助会員のいずれかの希望、氏名(ふりがなも)、住所、電話、ファクス、Eメールアドレス・卒業年・語科を振込用紙にご記入の上、年会費を下記口座にお振込み下さい。お振込みをもって、ご入会と致します。(年会費：会員3千円 賛助会員一口2千円)
振込口座：さくら銀行ときわ台支店 普通口座648●582
名義 東京外国語大学留学生支援の会 会長 中嶋洋子
お問合せ：電話03-5974-3404(東京外国語大学留学生課)

東京外語会会報

No. 89

2000年6月号





早稲田・三ノ輪橋間を走る都電荒川線の西ヶ原四丁目。外語大最寄りの駅である。

大塚駅あるいは王子駅方面から通学する学生たちが利用する。昭和40年代のモーターゼーションの影響で次々姿を消した都電の路線の中で専用軌道があるため唯一残った。

目次

平成十二年定時総会のお知らせ
新定款決まる 臨時総会報告
委員会だより

総務・メンバーシップ・支部連絡・文化

留学生住宅総合補償制度に外語会から協力金
東京外語会海外支部一覽

平成十二年三月末の募金総額と現在の後援会活動
記念事業推進本部長 中村博 (E昭29)

未来にはばたく新卒業生—ようこそ外語会員に
キャンパス通信

東京外国語大学出版会四月に設立
「東京外国語大学史」普及版を刊行

東京外国語大学出版会委員長 亀山郁夫 (R昭47)
大学の新しい運営体制の発足について
学長 中嶋嶺雄 (C昭35)

「東京外国語大学史」の頒布に関するお願い
学長 中嶋嶺雄 (C昭35)

万感こもこも「さよなら西ヶ原」
二年目を迎えた「東京外国語大学留学生支援の会」
フォーラム

古賀十二郎—長崎の誇りとロマン
中嶋幹起 (C昭41・GL昭43)

外語時代の中原中也
関口 宏 (S昭36)

佛語学科出身の凶案家 杉浦非水の大きな足跡
大塚圭一郎 (F平9)

50年ぶりのレガッタ
高野正美 (C昭22)

浅野 輔さん (E昭31)の死を悼んで
國弘正雄

独立百周年(建学二六三年)記念海外事情研究所主催
国際シンポジウム「記憶と歴史」

本を紹介 26 つどい 31 会員短信 34
東外大公開講座 42 終身会費納入者 43

計報 44 編集後記 44
写真 鈴木一正 (E昭28) 青山保 (E昭29)
カント 井上博史 (I昭34・37)

東京外語会

平成12年定時総会・懇親会のご案内

6月17日(土)に西ヶ原キャンパスで開催されます。いよいよ今夏8月には母校は府中新キャンパスへ移転します。西ヶ原で最後の東京外語会の総会・懇親会です。ぜひお誘いあわせの上、奮ってご出席くださるよう、ご案内申し上げます。なお、恒例の卒業50年、25年のお祝いをする慶祝組は昭和25年卒業あるいは昭和22年入学の方々とは昭和50年卒業あるいは昭和46年入学の方々です。

【日時】

6月17日(土)

受付 午後2時30分～
総会 3時～4時
行事 4時～5時30分
懇親会 6時～7時30分

【会場】

総会 東京外国語大学講堂
懇親会 東京外国語大学4号館6階大会議室

【会費】

7,000円(80歳以上の方、および平成12年の卒業生は無料です)
なお同窓会費(50,000円)の納入も受け付けます。

【総会議事】

平成11年度事業報告・平成12年度事業計画(案)・平成11年度収支決算報告・平成12年度収支予算(案)・監査報告・その他

【行事】

1. アトラクション タイ舞踊
2. 慶祝組記念撮影
 - ①昭和25年卒業生・昭和22年入学者
午後5時～5時30分
 - ②昭和50年卒業生・昭和46年入学者
午後5時30分～5時50分

【懇親会】

ビュッフェスタイル・パーティ
午後6時～7時30分

【お願い】

- ①出欠は同封の返信用はがきを6月10日までに着くようご投函ください。
- ②総会議事はできるだけ簡明に運びたいと願っております。当日の配布資料により、議事内容をご理解くださるようお願いいたします。

【交通】

JR巣鴨駅から大学まで車を利用なさりたい方は巣鴨駅正面出口の柱のところにお集まりください。
2時から3時までの間、係のものがご案内いたします。
帰りも、午後7時から8時の間、巣鴨駅までの車を用意いたします。

【慶祝組】

慶祝組の方々には別途総会・懇親会のご案内を差し上げます。
慶祝組の各語科の世話役などについてのお問い合わせは外語会本部(TEL.03-5974-3208)まで。